

2000 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日の間に 当科において熱傷の治療を受けられた方及びご家族の方へ

—「熱傷の予後予測に関する検討」へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学	救急医学	教授	椎野 泰和
研究分担者	川崎医科大学	救急医学	講師	山田 祥子
	川崎医科大学	救急医学	准教授	井上 貴博
	川崎医科大学	救急医学	准教授	宮本 聡美
	川崎医科大学	救急医学	講師	高橋 治郎
	川崎医科大学	救急医学	臨床助教	上野 太輔
	川崎医科大学	救急医学	臨床助教	稲吉 祐樹
	川崎医科大学	救急医学	臨床助教	岡根 堯弘
	川崎医科大学	救急医学	臨床助教	立石 寛子

1. 研究の概要

熱傷は熱傷の面積が広くなったり、深くなったり、あるいは高齢者が熱傷を負うと生命に関わる場合があります。これまで熱傷患者さんの予後については、熱傷の面積とその深さ、患者さんの年齢から簡易式で算出していましたが必ずしも正確ではない可能性があります。今回、機械学習を用いて、熱傷の予後予測を試みます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2020 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院救急科において熱傷の治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025 年 3 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において熱傷の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに年齢、性別、熱傷を負った理由（熱湯など）、熱傷の深さ、気道熱傷の有無のデータを集めて、救命できるかどうかを判定するシステムを機械学習を用いて作成し、その正確性を検討します。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、熱傷を負った理由（熱湯など）、熱傷の深さ、気道熱傷の有無等

5)情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学救急医学実験室のパスワード等で制御されたコンピューターに保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてわかりにくく点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2022年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 救急科

氏名：椎野 泰和

電話：086-462-1111 内線 25511（平日：10時00分～17時00分）

ファックス：086-464-1044

E-mail：shiino@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。